

## 第3回特別展 伊勢湾近辺の漂流者たち

大黒屋光太夫記念館 第3回特別展

# 伊勢湾近辺の漂流者たち

2007年  
11月6日 ▶ 12月16日

入場料 無料 開館 10:00 / 閉館 18:00

## 大黒屋光太夫記念館

三重県鈴鹿市若松中一丁目1-8 TEL・FAX 059-385-3797  
URL <http://www.educity.suzuka.nie.jp/kodayu/>

主催：鈴鹿市 後援：三重県博物館協会

### 大黒屋光太夫記念館 第3回特別展

### 伊勢湾近辺の漂流者たち

光太夫だけじゃ  
なかつた？

電車もトラックもなかった江戸時代、船は欠かせることのできない物流・交通の手段でした。京や大阪に近く、良港に恵まれた伊勢湾では、各地の産物を江戸へ運ぶための廻船業が発達し、全国的な展開をみせました。また、熊野灘と遠州灘は、船の難所として知られており、伊勢湾の海はその途中に位置する格好の待避港でもありました。伊勢湾には、多くの船が行き交い、そして時には、難船・難波の舞台にもなったのです。

「漂流」と言えば、伊勢若松の大黒屋光太夫がもっとも有名です。しかし、伊勢湾が生んだ漂流者は、実は光太夫だけではありませんでした。今回の特別展では、志摩の若宮丸、尾張の普樂丸、讃美の永久丸など「伊勢湾近辺の漂流者たち」が残した漂浪の記録を紹介します。



「動員日記」 宗徳寺蔵 新城市歴史文化財



「鯨比呂吉」 鈴鹿市歴史博物館蔵 三重県歴史文化財



江戸時代 江戸幕府伊勢湾近辺海門開港論 尾張府中津山出陣御上奏書（尾張大津藩文書）

#### 主な展示資料

- 「動員日記」 宗徳寺蔵 新城市歴史文化財
  - 「鯨比呂吉」 田原市歴史博物館蔵 田原市歴史文化財
  - 「志摩島御倉御出陣小早高船右衛門江文庫開港論文書」 神戸大学附属図書館（江文庫）など
- 会期中、一部展示替があります。

#### 大黒屋光太夫記念館

〒510-0224 三重県鈴鹿市若松中一丁目1-8  
TEL・FAX 059-385-3797  
URL <http://www.educity.suzuka.nie.jp/kodayu/>

会期中、移動型フラットを無料配布します。先着500名